

第5章 修繕・改修

5-1 施設整備計画書とは

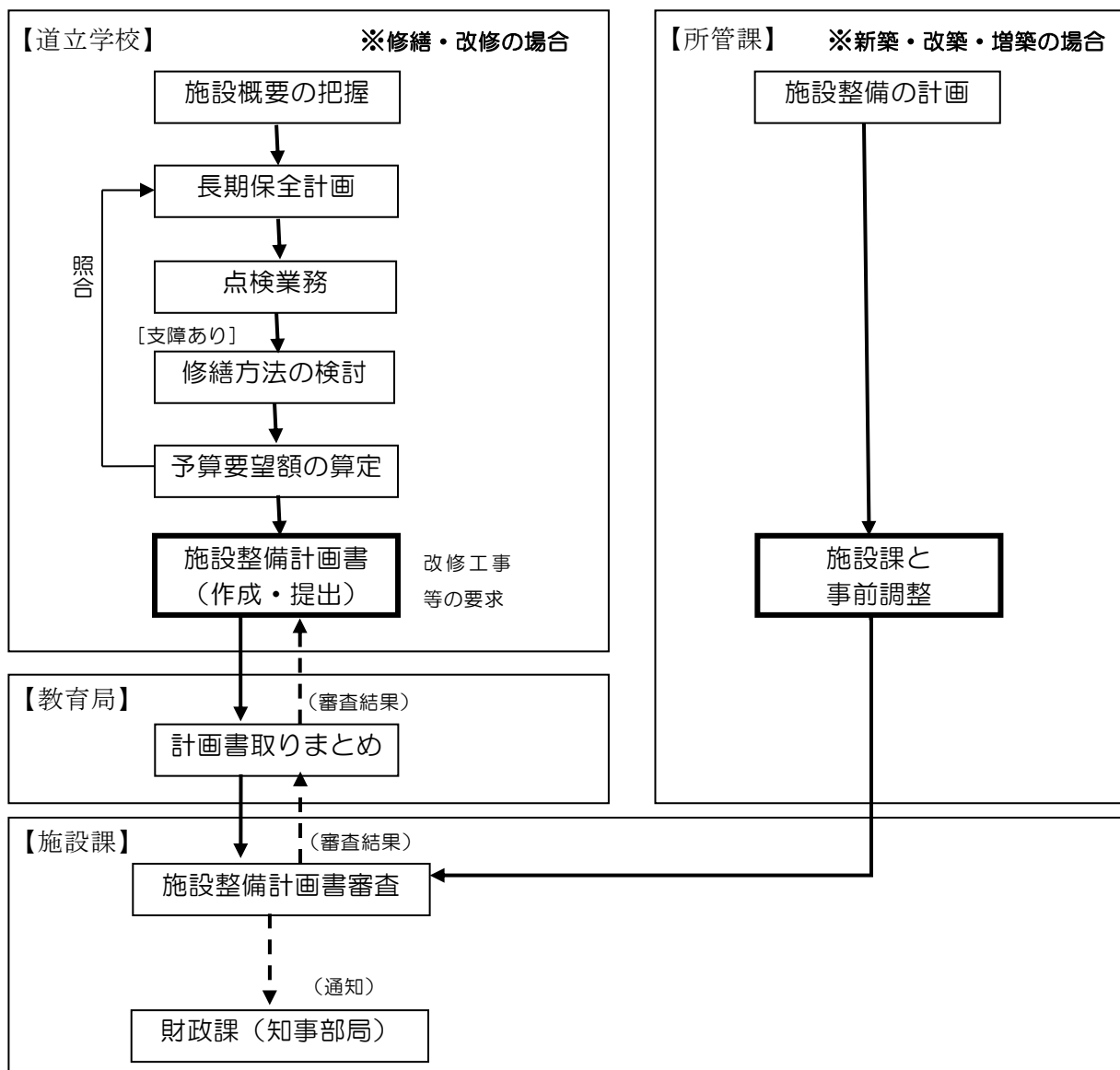
「施設整備計画書」とは、施設管理者が修繕又は改修（更新）工事（以下、改修工事等）を行おうとする場合に、予算要求に先立ち作成し、総務政策局施設課に提出する書類です。

このうち、250万円を超える（工事費の概算額）ものについては、総務政策局施設課において提出された「施設整備計画書」により、改修しようとする部位の劣化度等を確認することで当該工事の緊急性や必要性を判断するとともに、予算積算の妥当性を審査し、所管課長又は教育局長に送付するとともに、建設部建築局建築保全課を経由して総務部財政課長に通知します（保全規程第6条）。

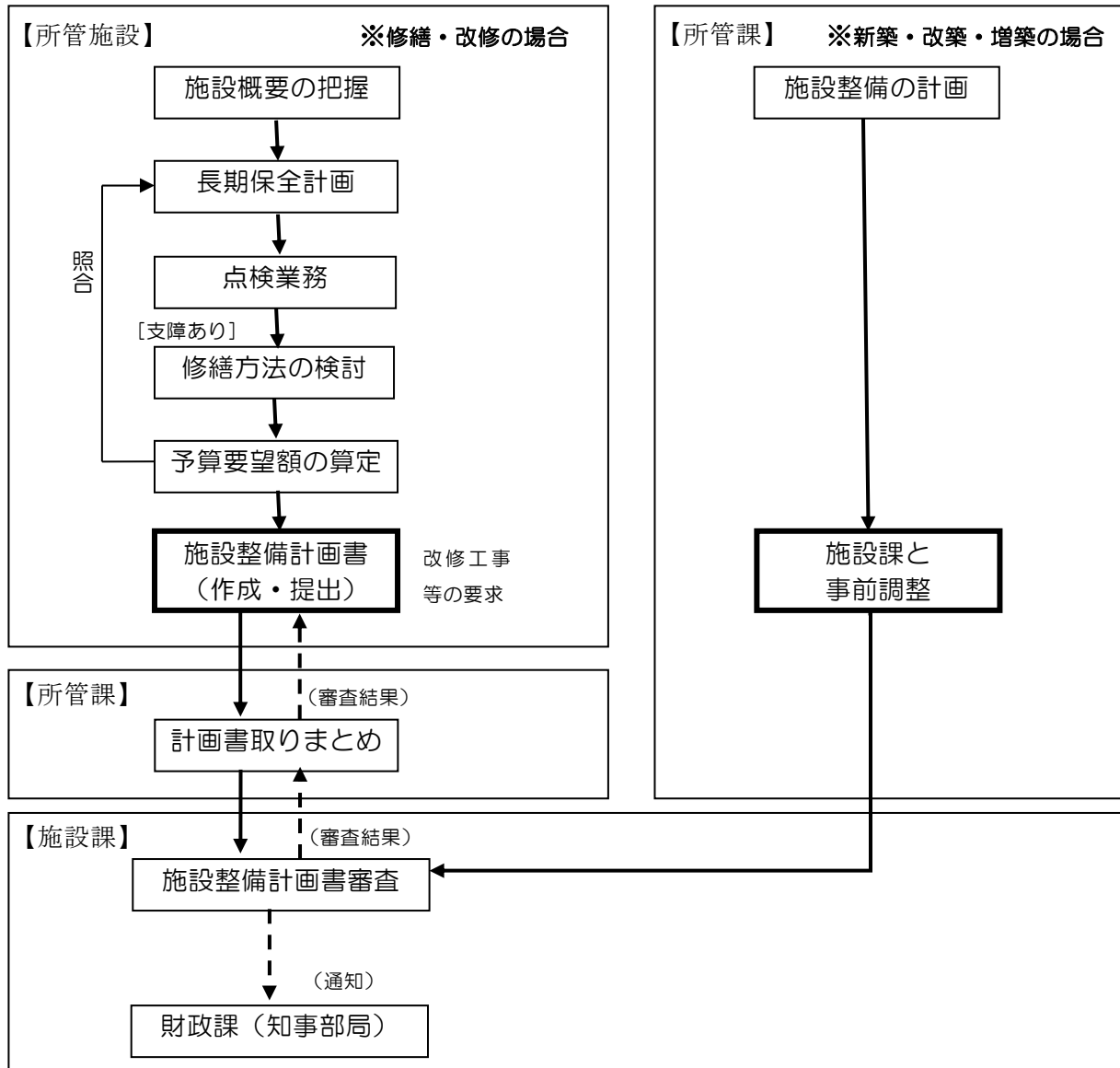
なお、施設整備計画書の作成は、新築、改築又は増築及び解体工事の場合においても準用します（保全規程第8条（準用））。

また、その他、自然災害等による復旧工事の必要性が発生した場合には、施設状況等に依りて別途対応します。

【道立学校の場合】



【所管施設（道立学校を除く）の場合】



5-2 施設整備計画書の作成について

施設整備計画書には、次の2種類があります。

- ・施設管理者が作成するもの……修繕工事や改修工事及び解体工事が対象
 - ・所管課及び施設課が作成するもの……新築、改築又は増築工事が対象
- なお、学校（寄宿舎含む）及び所管施設関係と、公宅は全て別葉で作成します。

（1）施設整備計画概要書（取扱通知別紙7-1）

| 記入項目 | 記入方法等 |
|---|--|
| ①施設管理者 （担当者） | ・保全規程上の施設管理者の他、施設管理に係る実務担当者の職・氏名を（ ）内に記入。 |
| ②所管部局課 | ・記載内容についての照会先（所管する課又は教育局の担当者の職・氏名と連絡先）を記入。 |
| ③施設名・施設コード | ・施設の正式名と公有財産台帳の「部局コード（6桁）＋口座番号（4桁）」を連番で記入。 |
| ④工事名 | ・工事対象施設が工事名から判断できるように、「施設名＋建物名＋整備内容＋〇〇工事」とする。 例：〇〇高等学校 体育館 暖房設備改修工事 |
| ⑤敷地 ・所在地 ・敷地面積 | ・所在地（住居表示）を記入。 ・財産台帳の面積を記載。 |
| ⑥現建物の概要 ・建物コード ・完成年度（西暦） ・構造 階数 ・建築面積 ・延べ面積 | ・公有財産台帳の「部局コード＋口座番号＋名称番号（最大3桁）」を連番で記入。 ※新築工事の場合は記入不要。 ・完成年度を西暦で記入。和暦は自動計算される。 ・公有財産台帳の「構造」及び「階数」を記入。 ・公有財産台帳の「建築面積」を記入。 ・公有財産台帳の「延べ面積」を記入。 |
| ⑦建物の業務概要 | ・当該施設で行われる業務の内容や、事業の内容など施設の機能に関する事項を記入の上、該当する施設区分番号を選択。 |
| ⑧施設整備の概要 ＜修繕・改修工事＞ ・工事区分 ・工事概要 ・更新周期 ・経過年数 ・要求工事費（千円） | ・工事内容毎に区分し記入。 ・主たる工事が伊予を記入。 ・更新しようとする部材、設備が取扱通知別紙6の更新周期表の対象部材等の場合は、その更新周期を記入。 ・該当しない場合は「一」とする。 ・当該工事の改修、更新後の経過年数を記入。 ・要求工事費（税込）を記入。別紙7-2施設整備計画の積算内容（集計表）の積算額と整合させること。 |

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・摘要 <p>＜新築、改築 又は増築＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物名 ・構造 <ul style="list-style-type: none"> ・地上、地下 ・建築面積（㎡） ・延べ面積（㎡） ・概算工事費（千円） <ul style="list-style-type: none"> ・摘要 <p>＜解体工事＞</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・特記する事項等を記入。 <ul style="list-style-type: none"> ・建物名（決定していない場合は仮称）を記入。 ・次のいずれかを記入。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・木造 ・木骨モルタル造 ・土蔵造 ・石造 ・れんが造 ・ブロック造 ・コンクリートブロック造 ・コンクリート造 ・鉄骨造 ・鉄筋コンクリート造 ・鉄骨鉄筋コンクリート造 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地上と地下の階数を記入。 ・計画の建築面積を記入。 ・計画の延べ面積を記入。 ・概算工事費（税込）を記入。別紙7-2施設整備計画の積算内容（集計表）の積算額と整合させること。 ・特記する事項等を記入。 <ul style="list-style-type: none"> ・解体工事の場合は記入不要。 |
| <p>⑨整備の必要性等</p> <p>＜修繕・改修工事＞</p> <p>＜新築、改築 又は増築工事＞</p> <p>＜解体工事＞</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当該施設整備を必要とする理由。 ・当該施設整備を行わない場合の施設機能への影響を記入。 ・施設の安全性等の緊急性。 <ul style="list-style-type: none"> ・当該施設整備の必要性 ・整備に係る民活等の導入の検討経過。 ・他の施設との合築の検討や、PFIの導入の検討、リースの可能性について検討した結果。 ・新築工事や移転改築など新たに敷地を選択した場合には、敷地選択の理由について記入。 <ul style="list-style-type: none"> ・解体工事の必要性の他、転用の可能性や、跡地利用の方法。 |
| <p>⑩年次別計画</p> <p>＜修繕・改修工事＞</p> <p>＜新築、改築 又は増築工事＞</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当該施設に係る5カ年程度の年次計画を記入。 ・備考欄には、債務負担行為の場合にその旨を記入し、初年度に当該年の予算額として全額を記入。 <ul style="list-style-type: none"> ・当該工事の設計・工事の他、長期保全計画に基づいて計画している改修工事などについて概算額を記入。 ※翌年度以降に計画している工事などで、未積算の場合は「○」でも可。 <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得から竣工まで、当該施設整備に係る一連の工程について記入。 ・建築工事、外構工事など、該当する工事などについて要求額を記入。 ※翌年度以降に計画している工事などで、未積算の場合は |

| | |
|---------------------|----------------------------|
| <解体工事> | 「○」でも可。 • 解体工事の場合は記入不要。 |
| ⑪その他、特記事項 | • 工事の制約条件、その他特記事項を記入。 |

施設整備計画の概要

整理番号

※整備番号は記入しない

| | | | | |
|------------|-------------------|-----------|----|--------|
| 施設管理者(担当者) | 北海道●●長(事務主任 □□□□) | | | |
| 所管部局課 | 教育 | 庁 | 局 | ☆☆課 |
| 担当者 | 職・氏名 | 事務主任 □□□□ | 電話 | 22-123 |

部局コード+口座番号

| | | | | | | | |
|---------------------------------|--|----------------------|--------|-----------------------|-----------|----|----|
| 施設名 | 北海道立〇〇センター | | 施設コード | ***** | | | |
| 工事名 | 道立〇〇センター 調査研究棟 暖房設備改修工事 | | | | | | |
| 敷地 | 所在地 | 〇〇市〇〇条〇〇丁目〇-〇 | 敷地面積 | 20,000 m ² | | | |
| 現建物の概要 | ※新築工事の場合は記入不要 | | | 建物コード | ***** | | |
| | 完成年度 | 1989 | 年度(西暦) | 平成元年度 | | | |
| | 構造・階数 | RC | | 地上 | 3階 | 地下 | 1階 |
| | 建築面積 | 1,800 m ² | 延床面積 | | | | |
| 建物の業務概要 | 〇〇地域の〇〇加工技術に関する試験研究施設 | | | | | | |
| | 1. 公共用施設、2. 学校・訓練・社会福祉施設、3. 公共的・特殊機能施設、4. 公用施設(研究・庁舎等)、5. その他付属施設 → 4 | | | | | | |
| 施設整備の概要 | 工事区分 | 工事概要 | 更新周期 | 経過年数 | 要求工事費 | 摘要 | |
| | パッケージエアコン更新 | 空調用エアコンの機器取替 | 20 | 23 | 10,000 千円 | | |
| | 空調用ボイラー更新 | 空調用ボイラーの機器取替 | 15 | 23 | 35,000 千円 | | |
| | 空調機監視盤更新 | 空調機監視盤の機器取替 | 20 | 23 | 10,000 千円 | | |
| | 〇〇機器更新 | 〇〇用設備機器更新 | — | 23 | 15,000 千円 | | |
| ※改修工事にあつては実施する工事区分ごとに工事内容を記入。新築 | | | | | | | |
| 整備の必要性等 | <ul style="list-style-type: none"> 空調用ボイラーは既に更新周期を超えており、業務委託の点検結果でも〇〇等の動作不良、〇〇からの漏水、〇〇の腐食の進行が顕著である旨の指摘を受け全面的な改修(更新)を求められている。 今まで実施している部分修繕の範疇では、機能維持が困難な状況にあることから更新が必要である。 当該機器の機能停止は、執務環境の確保ばかりではなく、〇〇研究に支障が生じる。 | | | | | | |
| 年次別計画 | ※当該施設に係る5カ年の年次計画。新築・改築工事の場合は有 | | | | | | |
| | 区分/年度 | ~R1 | R2 | R3 | R4 | | |
| | 実施設計 | 1,500 | | | | | |
| | 空調設備更新 | | 70,000 | | | | |
| | 衛生設備改修 | | | ○ | | | |
| | 合計 | 1,500 | 70,000 | 0 | | | |
| その他、特記事項 | 夏期間は、〇〇研究に大きな支障が発生せずボイラ | | | | | | |

施設コード+名称番号

西暦を記入すると、自動表示

更新周期が、表に無い場合は「—」

工事区分毎に下記事項を記入
 ・劣化の状況
 ・今までの保全状況(修繕状況含む)
 ・当施設、設備等の重要性
 ・業務への影響

当該工事の年次計画の他、今後の工事計画等を予定している場合なども記入。翌年度以降において、金額が不明の場合は「○」を記入。

※要求額には消費税相当額を含む。(R1作成)

《解体工事》

施設整備計画の概要

整理番号

※整備番号は記入しない

| | | | | |
|------------|---------------------|---------|------|--------|
| 施設管理者（担当者） | 北海道●●学校長（事務主任 □□□□） | | | |
| 所管部局課 | 教育 | 庁 | 〇〇教育 | 局 ☆☆ 課 |
| 担当者 | 職・氏名 | 主任 □□□□ | 電話 | 22-123 |

部局コード+口座番号

| | | | | | | | | |
|----------|---|--------------|----------------|--------|----------------------|--------|--------|----|
| 施設名 | 北海道●●学校●〇公宅 | | 施設コード | ***** | | | | |
| 工事名 | 北海道●●学校●〇公宅解体工事 | | 施設コード+名称番 | | | | | |
| 敷地 | 所在地 | 〇〇市●〇条〇丁目〇-〇 | | 敷地面積 | 2,500 m ² | | | |
| 現建物の概要 | ※新築工事の場合は記入不要 | | | | | | | |
| | 完成年度 | 1968 | 年度（西暦） | 昭和43年度 | | | | |
| | 構造・階数 | BC造 | | 地上 | 2 | 階 | 地下 | |
| | 建築面積 | 144 | m ² | 延床面積 | 288 m ² | | | |
| 建物の業務概要 | 道立学校職員住宅 | | | | | | | |
| | 1. 公共用施設、2. 学校・訓練・社会福祉施設、3. 公共的・特殊機能施設、4. 公用施設（研究・庁舎等）、5. 倉庫 | | | | | | | |
| 施設整備の概要 | 西暦を記入すると、自動表示 | | | | | | | |
| | 解体工事の場合は記入しない。 | | | | | | | |
| | ※改修工事にあつては実施する工事区分ごとに工事内容を記入。新築・改築工事等にあつては施設の概要を記入。 | | | | | | | |
| | 整備の必要性等 | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●●施設は□□施設と統合されH△より不要となった。 施設の老朽化・利用状況から他へ転用が出来ないため解体を決定。 解体後の跡地利用が決定している。※売払、 施設の一部に倒壊の恐れがあり危険な状態に ※解体が必要である理由を記入。 | | | | | | | |
| 年次別計画 | ※当該施設に係る5カ年の年次計画。新築・改築工事の場合は着工から竣工までの年次計画 | | | | | | | |
| | 区分/年度 | ~R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | 合計 | 備考 |
| | 実施設計 | | 2,400 | | | | 2,400 | |
| | 建築工事 | | | 35,000 | | | 35,000 | |
| | 外構工事 | | | 25,000 | | | 25,000 | |
| | | | | | | | 0 | |
| | | | | | | | 0 | |
| 合計 | 0 | 2,400 | 60,000 | 0 | 0 | 62,400 | | |
| その他、特記事項 | ・跡地は〇〇敷地であり部分売却不可。 | | | | | | | |

※要求額には消費税相当額を含む。

(R1作成)

(2) 施設整備計画の積算内容（取扱通知別紙7-2）

ア 施設整備計画の積算内容（集計表）

| 記入項目 | 記入方法等 |
|----------------------------|--|
| ①工事名 | ・別紙7-1の工事名と整合させること。 |
| ○工事費 | |
| ①区分 | ・工事区分毎に分け積算して集計する。 ・工事区分が複数ある場合は工事価格を合計したのち、消費税相当額を計上し工事費とする。 |
| ②全体計画 ・数量 ・単位 ・金額 | ・事業全体の工事費（概算額）を記入。 ・新築、改築、増築工事の場合は面積を記入。 ・新築、改築、増築工事の場合は「㎡」を記入。 ・工事区分毎に工事費を積算。 |
| ③○○年度要求 ・金額 ・本体工事内訳 | ・自動計算。 ・工事毎に記入。 【建築】：建築工事費 【電気】：電気設備工事費（高圧、低圧電気工事、通信設備等） 【衛生】：給排水設備工事（給湯、衛生器具（トイレ等）含む） 【暖房】：暖房設備工事費（空調設備、換気設備等含む） 【外構】：外構整備工事費（土木工事） |
| ○業務委託料 | |
| ①区分 | ・基本設計、実施設計、工事監理等の委託区分に分割記入。 |
| ②全体計画 ・金額 ・工事別内訳 | ・自動計算。 ・区分毎に記入。 【本体等】：建築物等に係る業務委託費 【土木】：外構整備工事等の土木工事に係る業務委託費 |
| ③○○年度要求 ・金額 ・工事別内訳 | ・自動計算。 ・業務委託費を区分し記入。 【本体等】：建築物等に係る業務委託費 【土木】：外構整備工事等の土木工事に係る業務委託費 |

イ 施設整備計画の積算内訳

| 記入項目 | 記入方法等 |
|---------|--|
| ①（工事区分） | ・当該工事の工種を記入。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> ・新築 ・改築 ・増築 ・改修 ・解体 ・外構 ・設計他 </div> |
| ②（工事内容） | ・当該工事の内容が分かるように記入。 |

| | |
|---|---|
| ③区分 | ・直接工事費、諸経費等に区分して記入。 |
| ④金額（千円） | ・各工事毎の合計額を記入。 |
| ⑤構造・仕様 | ・できる限り詳細に記入。 ※適切な構造・仕様であるか、単価等が妥当であるかの確認に必須。 |
| ⑥積算内訳 ・数量 ・単位 ・単価（円） | ・「構造・仕様」に係る数量を記入。 ・数量に対する単位を記入。 ・単価又は対象区分の金額を記入。 |
| ⑦単価の根拠 | ・単価の根拠を記入。 【見積り】：見積書による場合 【営繕単価】：北海道建設部営繕工事積算標準単価表による場合 【積算施工単価等】：建築施工単価、建築コスト情報等の出版物による場合 |
| <p><積算方法></p> <p>●積み上げによる方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事前の調査検討結果をもとに、営繕工事積算要領（建設部作成）に沿って数量等を計測する。 2 営繕工事積算標準単価表（建設部作成）、建設物価、建築施工単価などの刊行物を基に単価を設定する。 3 営繕工事共通費積算基準（建設部作成）により必要な共通費を求め、工事費を算出する。 <p>●見積による方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事前の調査検討結果を基に、見積の依頼内容を設定する。 2 函面等の写しなど見積に必要な資料を整える。 3 原則として、3社以上から見積を徴収する。 4 見積依頼内容との整合性を確認し、不当に低い見積価格を排除するなど、見積の妥当性に留意し工事費を算出する。 <p>※ 見積書は、直接工事費と諸経費に区分し、直接工事費の内訳は「一式」とはせず積算内容が分かるものを徴収してください。</p> | |

施設整備計画の積算内容(集計表)

新築、改築、増築工事の場合に、面積を記入。

空調設備、換気設備
冷房設備も「暖房」欄

工事名: ●●センター改修工事

○ 工事費

(金額単位: 千円)

| 区分 (工事区分毎に積算) | 全体計画 | | 令和2年度要求 | | | | | 備考 | 審査欄 ※ | | | |
|------------------|------|----|---------------|---------------|---------------|----|----|---------------|-------|----|----|--------------|
| | 数 | 単位 | 金額 | 金額 | 建築 | 電気 | 衛生 | | | 暖房 | 外構 | |
| 屋上防水改修 | 1 | 式 | 19,100 | 19,100 | 19,100 | | | | | | | |
| 消費税込相当額 | | | 1,910 | 1,910 | 1,910 | | | | | | | ×10%、千円未満切上げ |
| 工事費 | | | 21,010 | 21,010 | 21,010 | | | | | | | |
| パッケージエアコン更新 | 1 | 式 | 9,600 | 9,600 | | | | 9,600 | | | | |
| 消費税込相当額 | | | 960 | 960 | | | | 960 | | | | ×10%、千円未満切上げ |
| 工事費 | | | 10,560 | 10,560 | | | | 10,560 | | | | |
| 空調用ボイラーの更新 | 1 | 式 | 33,400 | 33,400 | | | | 33,400 | | | | |
| 消費税込相当額 | | | 3,340 | 3,340 | | | | 3,340 | | | | ×10%、千円未満切上げ |
| 工事費 | | | 36,740 | 36,740 | | | | 36,740 | | | | |
| ボイラー用軟水機の更新 | 1 | 式 | 9,540 | 9,540 | | | | 9,540 | | | | |
| 消費税込相当額 | | | 954 | 954 | | | | 954 | | | | ×10%、千円未満切上げ |
| 工事費 | | | 10,494 | 10,494 | | | | 10,494 | | | | |
| 消費税込相当額 | | | | | | | | | | | | ×10%、千円未満切上げ |
| 工事費 | | | | | | | | | | | | |
| 工事費 合計 | | | 78,804 | 78,804 | 21,010 | | | 57,794 | | | | |

各工事区分毎に積算し、
各区分毎に消費税込み
の工事費とする。

○ 業務委託料

(金額単位: 千円)

| 区分 | 全体計画 | | 令和2年度要求 | | 備考 | 審査欄 ※ |
|---------------|--------------|--------------|---------|--------------|--------------|--------------|
| | 金額 | 工事別内訳 | 金額 | 工事別内訳 | | |
| | | 本体等 | 土木 | 本体等 | 土木 | |
| 実施設計 | 1,200 | 1,200 | | 1,200 | 1,200 | |
| 消費税込相当額 | 120 | 120 | | 120 | 120 | ×10%、千円未満切上げ |
| 委託料 | 1,320 | 1,320 | | 1,320 | 1,320 | |
| 工事監理 | | | | | | |
| 消費税込相当額 | | | | | | ×10%、千円未満切上げ |
| 委託料 | | | | | | |
| 委託料 合計 | 1,320 | 1,320 | | 1,320 | 1,320 | |

※審査欄には記入しないこと。

黄色セルのみ入力して下さい。

(R1作成)

施設整備計画の積算内訳

(工事区分: 改修) (工事内容: 屋根改修工事) (棟名称: ○○棟)

| 区分 | 金額(千円) | 構造・仕様 | 積算内訳 | | | 単価の根拠 | 説明 | 審査欄 ※ |
|--------|--------|-------------|-------|----------------|-----------|--------|----|-------|
| | | | 数量 | 単位 | 単価(円) | | | |
| 屋根改修 | | | | | | | | |
| 直接仮設費 | 5,170 | 外部枠組足場損料 | 2,000 | m ² | 1,500 | 見積り | | |
| | | 同上 段手摺 | 400 | m | 500 | 見積り | | |
| | | 同上 昇降階段 | 100 | m | 1,500 | 見積り | | |
| | | 同上 養生シート | 1,200 | m ² | 350 | 見積り | | |
| | | 養生 | 2,000 | m ² | 400 | 見積り | | |
| | | 整理清掃後片付け | 2,000 | m ² | 300 | 見積り | | |
| 屋根板金工事 | 10,000 | ガルバリウム鋼板葺き | 2,000 | m ² | 4,000 | 積算施工単価 | | |
| | | 同上75μアルミ樹脂付 | 2,000 | m ² | 500 | 積算施工単価 | | |
| | | 取替費 | 1 | 式 | 1,000,000 | 見積り | | |
| 撤去工事 | 680 | 既存屋根材撤去 | 9 | m ² | 600 | 見積り | | |
| | | 撤去材運搬費 | 9 | 式 | 30,000 | 見積り | | |
| | | 撤去材処分費 | 9 | t | 25,000 | 見積り | | |
| 直接工事費計 | 15,850 | | | | | | | |
| 現場管理費 | 1,750 | | 1 | 式 | 1,750,000 | 見積り | | |
| 一般管理費 | 1,500 | | 1 | 式 | 1,500,000 | 見積り | | |
| 屋根改修計 | 19,100 | | | | | | | |

単価根拠等を記入
・見積り
・道営積単価
・積算施工単価

直工事費は、工事の内容
が判るように、区分
して記載して下さい。

記載例は、改修工事の部
分的な例示で、必要な場
合は複数枚として下さい。

※審査欄には記入しないこと。

(R1作成)

(3) 施設整備計画書（取扱通知別紙7-3）

| 記入項目 | 記入方法等 |
|--|--|
| ①整理番号 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 集約後の整理番号 |
| ②新規・継続の別 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「新規」、「継続」から選択 【新規】：初めて予算要求を行う場合 【継続】：前年度以前から引き続き予算要求している場合 ※今年度以前に設計を行い、次年度に工事費を要求する場合（継続事業）も、「継続」とする。 |
| ③予定工事 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事名 ・ 所在地 ・ 当該年度工事内容 ・ 工期 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙7-1の工事名を記入。 ・ 施設所在地の市町村名を記入。 ・ 次年度に予定する工事内容に「●」を選択。※複数選択可 ・ 事業全体の工期を記入。（設計～工事完成まで） |
| ④当該年度要求 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料工事費の別 ・ 要求額（千円） ・ 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「委託料」、「工事費」、「委託料＋工事費」、「工事費＋工事監理」から該当種別を選択。 ・ 別紙7-1の要求工事費を記入。 ・ 特定財源を含む場合は「特定財源有」と記入。 |
| ⑤建設部への依頼 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算積算 ・ 工事の実施 ・ 技術指導 | <ul style="list-style-type: none"> ※所管課又は施設課が作成した場合のみ該当。 ・ 財務規則第204条の20の規程に基づき、建設部へ依頼した場合は「●」を選択。 ・ 予算積算を依頼した場合。 ・ 工事の実施を依頼した場合。 ・ 技術的な指導及び助言を依頼し、自ら実施する場合。 |
| ⑥事業主管 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所属局課（係） ・ 担当者（氏・職） ・ 電話（内線） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理に係る実務担当者の所属名を記入。 ・ 施設管理に係る実務担当者の職氏名を記入。 ・ 施設管理に係る実務担当者の連絡先を記入。 |
| ⑦審査結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 記入しないこと。 |

(課・局名) (グループ・係名) (職名) (氏名)
 ○○教育局 通立学校運営支援室 主査 ○○ ○○

| 優先順位 | 整理番号 | 新規 継続 の別 | 予定工事 | | | | | | 当該年度要求 | | | 建設部への依頼 | | | 事業主管 | | | 審査結果※ | | | *7 継続の場合 前年度 審査結果 | | |
|------|------|----------------|-----------------------|--------------------|--------------|--------|--------|--------|-------------|--------------------|--------------|-------------|----|----------------|-----------------|----------------|-------------|------------------|------------|----------|----------------------------|------------|----|
| | | | 工事名 *1 | 所在地 | 当該年度 工事内容 *3 | | | | | 工 期 (設計～工事完成まで) | 委託料 工事費の別 | 要求額 (千円) | 備考 | 予算 積算 *4 | 工事 の実施 *5 | 技術 指導 *6 | 所属局課 (G) | 担当者 (氏・職) | 電話 (内線) | 所見 ツク | | 協議結 果の額 | 所見 |
| | | | | | 新 業 | 改 業 | 増 修 | 改 修 | 解 体 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 | 継続 | ○○高校校舎 選択項目 ・新規 | 該当箇所 | ● | | | | 令和 2 ~ 2 年度 | 工事費 | 5,380 | | | | | ○○高校 | 事務長 ○○○ | 0123- 22-0000 | | | | | |
| | 2 | 継続 | ○○高校グラウンド改修工事 | ○○市 | ● | | | | 令和 2 ~ 3 年度 | 工事費 | 12,300 | | | | | ○○高校 | 事務主任 ○○○ | 0123- 22-1111 | | | | | |
| | 3 | 新規 | ○○高校校舎様配管改修工事 | □□市 | | | | | 令和 2 ~ 3 年度 | 工事費 | 9,000 | | | | | ○○高校 | 事務主任 ○○○ | 0123- 22-1111 | | | | | |
| | 4 | 新規 | ☆☆支援学校ボイラー更新工事 | △△市 | ● | | | | 令和 2 ~ 2 年度 | 委託料・ 工事費 | 23,450 | | | | | ☆☆支援学 校 | 事務長 ○○○ | 0124- 23-2222 | | | | | |
| | 5 | | | 工事名未定の場合 施設名+内容 | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 10 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 11 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 12 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 13 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 14 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 15 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 16 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 17 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 18 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 19 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 20 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 21 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 22 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 23 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 24 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 25 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 26 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 27 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 28 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 29 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30 | | | | | | | | 令和 ~ 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 新規 | — | — | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | — | 32,450 | — | 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | — | — | 0 | |
| | | 継続 | — | — | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | — | 17,680 | — | 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | — | — | 0 | |
| | | 合計 | — | — | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | — | 50,130 | — | 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | — | — | 0 | |

※欄は記入不要

- *1: 工事名が確定している場合は工事名を、工事名が確定していない場合は施設名にカッコ書きで表内の「工事概要」の欄にチェックしたものを記入
- *2: 所在する市町村名を記入
- *3: 該当するものの欄にチェック (●) を付ける (複数可)
- *4: 営繕工事に係る概算工事費の算定を建設部に依頼した場合にチェック (●) を付ける (所管課又は施設課が計画書作成した場合のみ該当)
- *5: 営繕工事の実施を建設部に依頼する予定がある場合にチェック (●) を付ける (所管課又は施設課が計画書作成した場合のみ該当)
- *6: 営繕工事に関する事務は原部自ら行うが、営繕工事に関する技術的な指導及び助言を建設部に依頼する予定がある場合にチェック (●) を付ける。(所管課又は施設課が計画書作成した場合のみ該当)
- *7: 継続の場合、前年度の審査結果 (A、B又はC) を右側欄外に記入してください。

(R1作成)

5-3 長寿命化診断・改修について

(1) 趣旨

「北海道ファシリティマネジメント推進方針」に基づき、建築物等を適切に維持管理することで耐用年数よりも長く使用するため、屋上防水や外壁などの重要な部位や設備機器等について長寿命化改修を実施します。

長寿命化改修の適否の判断は、主要部位及び設備機器等の損傷や劣化状況に係る調査を行う「長寿命化診断」により実施します。

(2) 対象建築物等

長寿命化改修の対象は、次の条件を満たす建築物等とします。

- ①保全規程第4条に規定する長期保全計画の作成が必要な建築物等
- ②鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造

(3) 実施方法

ア 長寿命化改修を実施する建築物等の選定

建設部建築局建築保全課長は、建築後、概ね40～45年を経過する対象建築物等の中から、将来の施設需要や移転集約の可能性などについて、関係課の意見を踏まえ、当該年度に長寿命化診断を実施する建築物等を、毎年5月末までに選定し、道有財産有効活用促進会議施設整備検討会へ報告するとともに、総務政策局施設課を経由し施設管理者に通知します。

イ 長寿命化診断の実施

建設部建築局建築保全課長は、選定した建築物等について長寿命化診断を実施し、その結果を、総務政策局施設課を経由し施設管理者に通知します。

ウ 長寿命化改修の実施

長寿命化改修が必要と通知を受けた建築物等について、所管課は保全規程の取扱い第8条（準用）関係の2に基づき、総務政策局長との事前調整を行い、その結果、改修を行う場合は、施設課長が建設部長に依頼し長寿命化改修を実施します。

(4) その他

長寿命化診断は、別に定める道有施設長寿命化診断実施要領により実施します。